

新たな劇場整備の検討について

観光、賑わいなど経済活力、さらに、次代を担う子どもたちの育成や地域の活性化などへの貢献を目指し、本格的な舞台芸術を上演できる劇場整備の検討を進めてきました。

この度、検討委員会より提言をいただきましたのでご報告いたします。

1 検討の経過

(1) 横浜市中期 4 か年計画（2018-2021）

文化芸術の風土醸成や子どもたちの育成を図るとともに、さらなる魅力・賑わいを創出し、都市の活性化につなげるため、新たな文化芸術の魅力を発信する劇場の整備について検討を行うことが位置付けられました。

(2) 横浜市新たな劇場整備検討委員会での検討

令和元年 6 月～11 月 「横浜市新たな劇場整備検討委員会」を設置、開催
12 月 検討委員会から提言（第一次）を受領
令和 2 年 6 月～12 月 検討委員会及び専門部会を開催
12 月 検討委員会から提言を受領

2 検討の内容

(1) 目指す姿

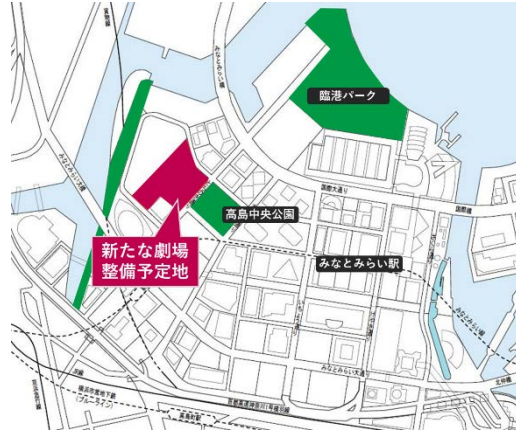
- ・ 高い芸術性の創造とグローバルな発信
- ・ 集客・誘客による市内経済再生への貢献
- ・ みなとみらい 21 地区の中核をなす施設として、まち全体の発展への寄与
- ・ 次代を担う子どもたちの豊かな心の醸成
- ・ 地域の文化芸術活動の活性化への寄与
- ・ 舞台芸術を支える人材の育成

(2) 主な施設想定

- ・ 延床面積約 44,000 m²
- ・ 客席数 2,500 席規模
- ・ オーケストラピット、多面舞台、スタジオ、レストラン・カフェ等

(3) 整備予定地

- ・みなとみらい2 1 地区 60・61 街区
- ・新高島駅から徒歩約 5 分
- ・みなとみらい駅から徒歩約 7 分
- ・敷地面積約 23,000 m²



(4) 提言の主な内容

- ・ポストコロナの社会情勢を見据え、人・地域社会、技術、経済再生、つながりを一層重視した計画内容として整備を推進すべき
- ・市民、地域社会の豊かな暮らし、アーティスト、舞台芸術の質の高まり、多岐にわたる産業の活性化など多面的な効果の発揮が期待できる
- ・事業効果や横浜の将来のまちづくりの発展などをふまえ、市全体の事業の優先順位を考慮することなどにより、整備に伴う負担は可能であり、妥当
- ・市民や企業の皆様の理解や関心を深め、気運をさらに盛り上げていくよう積極的に取り組む必要がある

3 今後の情報提供の進め方について

- ・新たな劇場の重要な役割である、次世代育成や地域の文化活動の活性化などについて、市民の皆様と直接意見交換を行うワークショップを開催するなど、より多くの声を聴きながら検討します。
- ・今後の検討状況について、逐次、お伝えします。

担当：政策局劇場計画課・芸術創造課

電話：671-4399、4198